組報
# 真宗おおだ東
第 11 号
2022.10.1発行
発行所
真宗大田東組
組報編集部

## コロナ禍での大田東組の活動

大田東組 組長 **福 間 信 隆**

２０２０年４月７日新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、緊急事態宣言が出され、今年度で３年目を迎えました。いみじくもこの私が組長を拝命しました時に重なる事になってしまいました。この間、当たり前のように暮らしてきた日常の生活が一変し、不便な・不安定な生活を今でも強いられておりますが、大田東組でもその影響に伴い、各専門部においての事業の様子を見ますと中止や延期、縮小を余儀なくされている事が伺えます。

事務局サイドといたしましては、組長、副組長、事務局会議を頻繁に開き、３組合併（大田・三瓶・石東）から、それぞれの特色ある違いの運営から、それを生かして引き継ぎながら組織の基礎づくりから組織運営までの取り組の反省や今後のあり方などの話し合いを重ね「結ぶ絆から広がる縁に」つまり点から線へ、さらに線から面へとの思いの中、実践目標を「学び・取り組・育む」とし、コロナウイルス感染拡大に十分に配慮して「できる事からすすめていく」を念頭に置きながら、今年度は子供の居場所づくり「みんなの寺子屋」事業や形を一新しての「連続研修会」の開催。インターネットを活用したウェブ講演会。次世代育成部担当での「大田お寺めぐり」など新しい取り組みが出来ていることは、今までにない成果ではないかと考えています。

特に「みんなの寺子屋」事業では、今日子ども達の置かれている環境「少子化・人口減少・貧困」など様々な問題を抱え、さらにコロナ禍の影響により、外へ自由に出ることが規制され、人と人との関わりが希薄化となり、人間形成上ふさわしくない状況にあると考え、その状況を鑑み、子ども達の健全育成を図るために、昔のようなお寺を核とした子ども達の居場所を提供し、このことが地域の活力醸成にも繋がるとも考えました。お念仏を通して「相手を尊重し、思いやりの心」「お陰様の心」「感謝する心」など心の育成を図り、また活動を通して学習の見守りや食育、身体を動かす事により、心身共に成長をさせていくことを願っての活動です。この活動は大田東組の重点プロジェクト事業として「総力をあげて取り組む」と位置づけ、副組長を責任者とし、寺族婦人部、仏教女性部、次世代育成部を中心に取り組んでいますが、参加者の皆様から好評をいただいているところです。

３組合併以来「チーム大田東組」を目指し事業をすすめていますが、すべての寺院が結束して浄土真宗のみ教えを拠り所として、生かされる身の幸せを喜び合いつつ、仏恩報謝の思いから、共に支え合う実践が出来る大田東組にしていきたいなと考えております。皆様のさらなるご教示・ご支援をお願い致します。

# 「第3期大田東組連研」が始まりました

連研担当　三　瓶　　暁（徳善寺）

新型コロナウイルス感染拡大のために1年延期しておりました「大田東組連研」が本年4月から始まりました。

連研（れんけん）とは、私たちの宗派（浄土真宗本願寺派）で力を入れて取り組んでいる、ご門徒対象の連続した研修会のことで、12回の研修を事前に申し込みいただいたメンバーで行います。

僧侶が一方的にお話しすることが多いご法話と違い、お互いの意見を「聞き合う」ことによって、答えの出なかった人生の問いや、お互いの思いを共有することができる場が話し合い法座です。

受講される門信徒の方々のみならず、研修スタッフである私たち僧侶や門徒推進員の皆さんの学習の場でもあり、とても有意義な研修会となっています。

「連研ノートE（改訂版）」を教材に、毎回、①講義（ご親教（ご門主の法話）「念仏者の生き方から学ぶ」、②問題提起（1～12の問い）【例えば、葬儀や法事は何のためにするのか？】、③話し合い法座、④まとめという流れで進んでいきます。

現在17名の方が受講され、大田東組内のご寺院を会所（会場）に開催し、9月末で第5回が終了します。

「話し合い法座」の様子

講師の「問題提起」を受けて、約60分間、グループで意見交換をします。相手の話をじっくり聞きながら、自らを振り返ります。

## 連研会場の一覧（予定）

（始まりは13:30から）

| | 期　日 | 会所（会場） |
|---|---|---|
| 第１回 | ４月24日（日） | 徳善寺（三瓶町） |
| 第２回 | ５月15日（日） | 浄教寺（川合町） |
| 第３回 | ６月19日（日） | 明善寺（大田町） |
| 第４回 | ８月21日（日） | 照善寺（三瓶町） |
| 第５回 | ９月18日（日） | 極楽寺（久手町） |
| 第６回 | 10月23日（日） | 常見寺（大田町） |
| 第７回 | 11月27日（日） | 松林寺（久手町） |
| 2023（令和５）年 | | |
| 第８回 | １月21日（日） | 立善寺（波根町） |
| 第９回 | ２月19日（日） | 正蔵坊（大田町） |
| 第10回 | ３月11日（日） | 真浄寺（大田町） |
| 第11回 | ４月30日（日） | 浄善寺（三瓶町） |
| 第12回 | ５月14日（日） | 善性寺（川合町） |

講師による「念仏者の生き方」講義の様子

講師による「問題提起」「まとめ」の様子

この度の連研では、若手僧侶が率先してスタッフや講師をつとめ、和やかで明るい雰囲気の中で意見交換も進んでいます。毎回会所（会場）を移動し、各寺院を巡ることで「今までお参りすることのなかったお寺を知ることができた」と好評もいただいています。

左に今後の会場と日程を掲載しております。まだ始まったばかりです。連研の様子はどなたでもご覧いただくことができます。ぜひお立ち寄りください。

# みんなの寺子屋

みんなの寺子屋 担当
龍　末　　崇（明善寺）

令和3年7月から始まった大田東組の重点プロジェクト『みんなの寺子屋』も一周年を迎えました。「子ども達の居場所としてのお寺を今一度」との思いで始まった寺子屋事業ですが、今では子ども達だけの居場所では無くなってきているのではないか、と思っています。子ども達の保護者の方、そして私達スタッフにとっても、寺子屋が「私の居場所」と成って来ているのではないか、と思われるのです。

今年度の寺子屋では、誰に言われるでも無く本堂前で一揖（いちゆう）（一礼）してから入って来る子ども達の姿が多く見受けられました。また、スタッフの人手が足りない時には自分から率先して手伝いをしてくれる子が回を重ねる毎に増えてきています。

先述した様に、寺子屋事業が始まってから一年が経ちました。たった一年間ですが、子ども達の心の成長を強く感じさせられる一場面です。そして、そんな子ども達の成長に合わせて、保護者の方・我々スタッフ一同も共に成長をさせてもらっているのではないか、と私には思われるのです。

以前あるご導師の先生が子ども達への教化活動を指して、「伝導における基幹運動」と評されていた際の言葉が強く印象に残っています。

『子ども達へ真宗のみ教えを伝えていくという事は、決して一方向の伝導ではありません。子ども達へみ教えを伝えていく中で、私達自身が「真宗のみ教えとは何か」という事について、改めて見つめ直す為の大切なご縁をいただく場でもあるのです。この双方向の関係性こそが伝導教化の根幹であり、基幹運動たる所以なのではないでしょうか。』

以前はこの言葉を何気なく聞き流していましたが、寺子屋での子ども達の姿を通じて、この言葉の意味について改めて考えさせられています。

子ども達がご仏前で手を合わせる姿や一揖（いちゆう）（一礼）して本堂に入って来る姿、或いは自分から手伝いを買って出る姿。それ自体は小さな変化かもしれませんが、その様な小さな「心の変化」にこそ、真宗に於ける「信心歓喜」の兆しがあるのではないでしょうか。そして、その様な子ども達の姿から学ばせてもらっているからこそ、寺子屋が子ども達だけではない、「私の居場所」と成り得ているのではないか、と思われるのです。

「子ども達の居場所としてのお寺を今一度」との思いで始まった寺子屋事業ですが、今では子ども達と我々大人にとっての『みんなの寺子屋』に成って来ているのかもしれません。

『みんなの寺子屋』を共に作ってくださった子ども達と保護者の方、そしてスタッフとしてご協力いただいております各寺院関係者の方々。寺小屋事業の一周年に際し、ご協力いただいております皆様方にこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

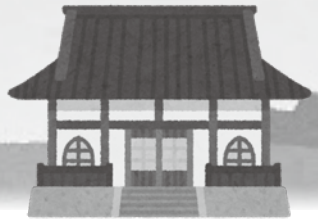
## 令和4年度 寺子屋 活動記録

**7月**
**川遊び**
去年中止になった川遊びを実施。川で遊びながら、自然の生き物について教えてもらいました。

**6月**
**郷土の食文化を学ぶ**
皆で「笹巻き」に挑戦。美味しくいただきました。

**5月**
**開校式**
今年度は13家族31名が参加してくれました。

# 地域と寺院のご縁づくり



## 平和と人権のつどい
## ドキュメンタリー映画「アトムの庭」を鑑賞して

実践運動担当　菅　原　　憲（正蔵坊）

２０２２年７月22日、大田東組実践運動「平和と人権のつどい」が大田あすてらすにて開催されました。

コロナ感染再拡大という状況ではありましたが、30名の参加をいただきました。２０１１年の原発事故で翻弄され続ける福島県の浜通りの人々。一方、全国でただひとつ、県庁所在地に立地する島根原発周辺の人々。遠く離れたふたつの地域は、同じ庭におかれている。はなたろー監督が10年にわたる長期取材を経て制作されたドキュメンタリー映画「アトムの庭」。映画では、二つの地域の住民たちが国に対して起した裁判を追ったドキュメント。一つは、福島南相馬市の住民有志。当初は、放射線が高いとされ避難区域（被災地から24キロ）であったが、事故３年後に避難解除に指定（被災地から20キロ圏外）されたことで、住民たちが、まだまだ解除には程遠い線量であり、危険な状況に変わりないということで、国に解除の取り消しを求めた訴訟。もう一つは、島根県松江市。原発直近２キロ先に活断層があることから、耐震性に欠けるとして島根原発１号機、２号機の運転差し止めを求めて松江地方裁判所に提訴した闘いです。どちらも、敗訴。訴訟は退けられてしまいます。

福島の避難をされている方々、被爆をしながら生活をされている方々、甲状腺による子どもたちの健康状態など。マスコミでは、まるで解決したかのように報道もされず、「フクシマ」はこのまま風化させてしまうのではないかないかと映画を見て感じました。

親鸞聖人の７５０回大遠忌法要で本願寺前門主が挨拶の中で次のように述べられました。「原子力発電所の事故は人間の知恵や能力で扱うことのできるものかどうか、子孫に何を残すかを問いかけています。後の世代に犠牲を強いて、今の経済的豊かさを優先する私たちの生き方は仏教から見ても大きな問題です」。

原発は事故がなければいいという問題ではありません。安全であるかそうでないか、必要なのか必要でないのかという問題ではありません。稼働していくということは、それ自体が被ばく労働者を生み出すことです。いわば命を削り続けることを前提とした、産業を推し進めてきた国の罪は限りなく深いといわねばなりません。まさしく「人権」の問題としてこれからも学んでいきたいと思います。

## 大田東組仏教婦人会連盟総会と今後の活性化について

大田東組仏教婦人会連盟委員長
大　迫　五十鈴（常見寺門徒）

２０２２（令和４）年度大田東組仏教婦人会連盟総会を、６月４日（土）に波根町立善寺様で開催いたしました。コロナ禍であり、密を避けるために多少の人数制限はいたしましたが、およそ90名の参加がありました。当日は、三隅組明顕寺ご住職の佐々木かおり師に「後の世に繋ぐ」の講題でご法話を頂戴いたしました。こうしてお聴聞させて頂き、集える喜びを感じた１日となりました。

10年前の大田東組仏教婦人会連盟発足当時は、15単位会、会員８５６名でしたが、現在は、10単位会、会員数４０２名となりました。お聴聞の輪を拡げるために、又会費収入増につなげるために、昨年７月、未加入寺院へ「準会員、賛助会員制度」のご案内に事務局のご住職とともに伺わせて頂きました。その結果、今年度は、準会員２ケ寺（20名）、賛助会員４ケ寺（５名）の方に加入して頂きましたことを深く感謝申し上げます。大田東組におきましては、いろいろな教化団体がありますが、歴史ある仏教婦人会は、お寺の運営には欠かせない存在であると思います。仏教活動の活性化は、お寺の活性化にも繋がっていくことでありましょう。高齢化が進む仏教婦人会ではありますが、組織の拡充を図るためにも、一人でも会員の増えることを願い、ともにお念仏の輪を拡げてまいりましょう。

# 2022年 報恩講のご案内

| 寺院名 | 日時 | 講師名 |
|---|---|---|
| **川合地区** | | |
| 浄教寺 | 11月21日(月) 13:00～ | 荒本 由未 師<br>(大代町 西臨寺) |
| 善性寺 | 10月29日(土) 13:00～<br>10月30日(日) 7:00～<br>〃 13:00～ | 佐々木俊教 師<br>(斐川町 覚専寺) |
| 妙覚寺 | 未定 | 未定 |
| 蓮乗寺 | 11月16日(水) 未定 | 未定 |
| 眞光寺 | 11月1日(火) 13:00～ | 岩根 了達 師<br>(久利町 浄賢寺) |
| 善林寺 | 11月7日(月) 13:00～ | 菅原 憲香 師<br>(大田町 正蔵坊) |
| 西方寺 | 未定 | 未定 |
| **久利地区** | | |
| 浄賢寺 | 11月3日(木) 13:00～ | 荒本 由未 師<br>(大代町 西臨寺) |
| 圓満寺 | 11月4日(金) 13:00～ | 毛利 孔晶 師<br>(邑南町 眞浄寺) |
| 信楽寺 | 11月27日(日) 13:00～ | 菅原 昭生 師<br>(温泉津町 西楽寺) |
| 西善寺 | 12月10日(土) 13:00～ | 菅 和順 師<br>(有福 光現寺) |
| 専徳寺 | 12月1日(木) 13:00～ | 福間 信隆 師<br>(久手町 極楽寺) |
| 念願寺 | 11月18日(金) 13:00～ | 岡田 哲水 師<br>(美郷町 西念寺) |
| **長久地区** | | |
| 蓮教寺 | 10月31日(月) 19:00～<br>11月1日(火) 13:00～ | 津村 信隆 師<br>(祖式町 善正寺) |
| 浄土寺 | 11月10日(木) 13:30～<br>11月11日(金) 13:30～ | 吉田 剛 師<br>(松江 眞光寺) |
| 正願寺 | 11月12日(土) 13:00～ | 岩根 了達 師<br>(久利町 浄賢寺) |
| **久手地区** | | |
| 松林寺 | 11月1日(火) 13:00～ | 荒本 由未 師<br>(大代町 西臨寺) |
| 極楽寺 | 11月23日(水) 13:00～ | 菅原 昭生 師<br>(温泉津町 西楽寺) |
| **鳥井地区** | | |
| 設我寺 | 10月9日(日) 13:00～ | 菅原 俊軌 師<br>(富山町 高林寺) |
| 法専寺 | 10月17日(月) 13:00～<br>10月18日(火) 13:00～ | 端光 倫浩 師<br>(邑智東 眞清寺) |

| 寺院名 | 日時 | 講師名 |
|---|---|---|
| **大田地区** | | |
| 西楽寺 | 11月4日(金) 13:00～ | 柳楽 由乗 師<br>(出雲 龍善寺) |
| 正蔵坊 | 11月28日(月) 13:00～<br>11月29日(火) 13:00～ | 山本 浄邦 師<br>(龍谷大非常勤講師) |
| 常見寺 | 11月23日(水) 10:00～<br>〃 13:00～<br>〃 19:30～<br>11月24日(木) 13:00～ | ※子ども報恩講<br>本多 静芳 師<br>(東京 万行寺)<br>(東京仏教学院講師) |
| 真浄寺 | 11月9日(水) 13:00～<br>11月10日(木) 13:00～ | 三谷 卓良 師<br>(江津 西教寺) |
| 明善寺 | 12月5日(月) 13:00～<br>12月6日(火) 13:00～ | 荒本 由未 師<br>(大代町 西臨寺) |
| **三瓶地区** | | |
| 専勝寺 | 11月3日(木) 未定 | 大道 修 師<br>(熊本 教尊寺) |
| 西教寺 | 11月4日(金) 未定 | 菅原 俊軌 師<br>(富山町 高林寺) |
| 宗正寺 | 11月19日(土) 未定 | 未定 |
| 禮善寺 | 未定 | ともしび法座 |
| 照善寺 | 11月20日(日) 13:00～ | 荒本 由未 師<br>(大代町 西臨寺) |
| 浄善寺 | 11月15日(火) 18:00～<br>11月16日(水) 13:00～<br>11月17日(木) 13:00～ | 未定 |
| 徳善寺 | 11月13日(日) 13:00～ | 未定 |
| **波根地区** | | |
| 大恩寺 | 10月21日(金) 13:00～ | 荒本 由未 師<br>(大代町 西臨寺) |
| 立善寺 | 11月22日(火) 13:00～ | 西原 真公 師<br>(粕淵 浄土寺) |
| **富山地区** | | |
| 専念寺 | 11月3日(木) 13:00～ | 清胤 祐子 師<br>(広島 正覚寺) |
| 福泉寺 | 11月13日(日) 13:00～ | 荒本 由未 師<br>(大代町 西臨寺) |
| 高林寺 | 10月23日(日) 13:00～ | 吉井 信明 師<br>(城崎組 照満寺) |

皆さま 誘い合わせて
お参りください

# 親鸞聖人御誕生８５０年・立教開宗８００年慶讃法要 大田東組本願寺団体参拝のご案内

親鸞聖人御誕生８５０年・立教開宗８００年の慶讃法要が、2023年３月29日より５月21日まで５期30日間、47座で行われます。
大田東組の本願寺参拝日は2023年４月25日に決まりました。
つきましては下記の行程にて団体参拝を実施する予定です。（詳細は後日各寺院にご案内いたします。）
共々にこの勝縁を機に、親鸞聖人が浄土真宗のみ教えを説き示してくださったことに感謝し、そのみ教えを深く味わいたいものです。皆さまのご参加をお願い申し上げます。

- ●旅行日程　2023年**4月25日**(火)～**4月26日**(水)　１泊２日
- ●募集人員　70名
- ●旅行費用　40,000円

| | |
|---|---|
| １日目<br>４月25日<br>（火） | 大田東組(各地) 6:00 ═══ (貸切バス) ═══ (昼食) 西本願寺・聞法会館 11:45 12:45 ═══ ···· 親鸞聖人御誕生８５０年 立教開宗８００年慶讃法要 13:35 西本願寺 16:00 ═══ 本願寺近辺（ホテル泊） |
| ２日目<br>４月26日<br>（水） | ホテル ···· お晨朝参拝 6:00 7:00 ···· ホテルにて朝食 ═══ 六角堂 9:00頃 ═══ 京都南座舞台鑑賞「慶讃法要記念『若き日の親鸞』」 10:30 12:30 ═══ (昼食・買い物) 京都市内 八つ橋庵とししゅうやかた 13:00頃 14:00頃 ═══ 大田東組（各地） 20:00頃 |

## 吾亦紅（われもこう）

▲岸田内閣は、安倍晋三元総理の「国葬」を、９月27日、東京の日本武道館で行うことを決定した。無宗教で、簡潔に厳粛に、国費で行うという。それ以降現在まで、その是非がさまざまに論議されているが、本来葬儀は一人ひとりがその個別の意思によって故人を追悼する宗教的儀礼である。国家が一国民の資質や業績について「国葬に値するか否か」を評価したり、決議したりすること、そのこと自体が、すでに「現憲法の精神」に背反する。憲法の根幹に据えてある「基本的人権」は、単に法制上の概念などではなく、人間が人間であることの尊厳性そのものを意味しているものである。▲戦前の「国葬」の法的根拠だった「国葬令」（一九四七年に失効）は「国民は喪に服す」ことが明記されている。政府は、このたびの「国葬」は国民に喪に服すよう強制する考えはないと説明しているが、「国葬」という位置づけそのものが、有無を言わせず一方的な価値観を国民に強いることになることはいうまでもない。▲すでに、安倍晋三元首相の葬儀に合わせ、東京都や山口県、北海道帯広市の教育委員会が小中学校などに国旗の半旗掲揚を要請していたことが判明している。政府の言い分がいかにその場逃れの欺瞞であるかが明らかである。▲国葬となれば国民の弔意が事実上、権力によって強いられることを意味する。人の死を悼むという人間の内面における精神的営みに国家権力は介入してはならない。特定の人間の国葬化は、平等なる人間の自由と尊厳に対する冒とくである。（龍）

## 仏教用語の基礎知識

「他力本願」は、他人の力をあてにする、他人任せという意味で、いろんな場面で使われますが大変な誤解です。
親鸞聖人は「教行信証」に「他力といふは如来の本願力なり」と明示しておられます。他人の力ではなく仏の力、阿弥陀佛の慈悲のはたらきをいうのです。
生きとし生けるものを救わずにはおられないという強い願いのはたらき、これが「他力本願」なのです。
本願寺出版社 くらしの仏教語より

## 編集後記

真宗おおだ東組のホームページをご案内いたします。検索にて進みますと、組長のご挨拶、各部会の説明、お寺の一覧と続きます。最後に本山のリンクへ繋がります。又、おおだ東組の活動のお知らせ、組報があり、プログへと、充実した内容のホームページとなっています。
一度、検索してください。コロナに負けない真宗があります。（M・W）